

第1章 上位計画・関連計画の整理

都市交通戦略の策定にあたっては、**まちづくりとの連携を重視**し、刈谷市が目指す将来都市像「都市活力と都市環境が共生する持続可能なまち 刈谷」（刈谷市都市計画マスタープラン）の実現することができる交通施策の展開を図るものとします。

また、次頁以降に上位計画である「刈谷市総合計画」及び「刈谷市都市計画マスタープラン」、並びに関連計画である「刈谷市環境都市アクションプラン」及び「衣浦定住自立圏共生ビジョン」の概要と本計画との関連について整理します。

■都市交通戦略の位置づけ



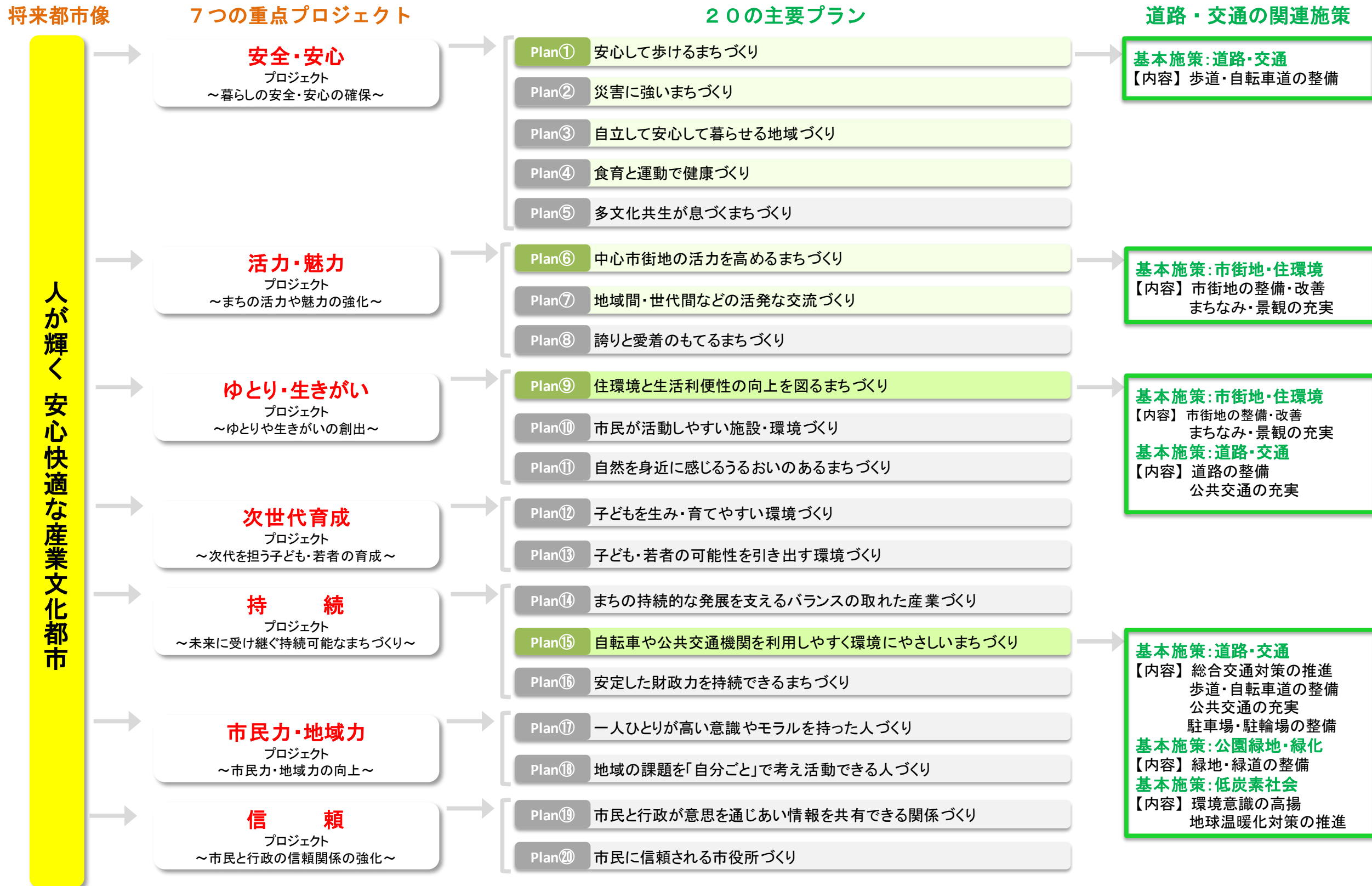
1. 第7次刈谷市総合計画の概要

■交通施策の位置づけ

○第7次総合計画は、【人が輝く 安心快適な産業文化都市】を将来都市像に掲げ、5つの基本方針と30の基本施策から構成されています。

○将来都市像の実現に向けて、重点課題に対応した7つの重点プロジェクトを掲げ、それぞれのプロジェクトに基づく20のプランを設定し、重点的に取り組んでいくものとしています。

○道路・交通関連施策としては、以下に着色した重点プロジェクト、主要プランと関連づけられます。

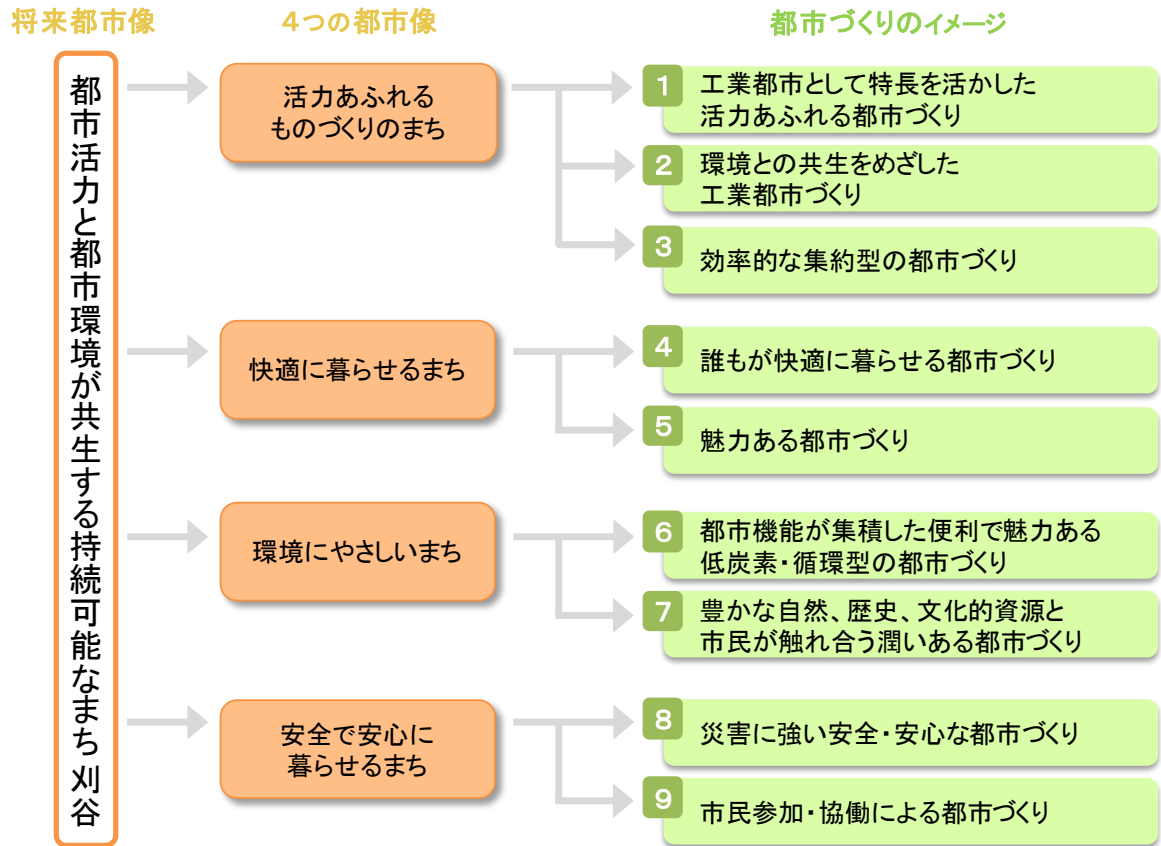


2. 刈谷市都市計画マスタープランの概要

■ 交通施策の位置づけ

○都市計画マスタープランは、【都市活力と都市環境が共生する持続可能なまち 刈谷】を将来都市像に掲げ、4つの都市づくりの目標と9つの施策の展開方針から構成されています。

○道路、交通関連施策については、分野別の基礎的方針のうち都市交通の整備方針として整理されています。



○交通施設の整備方針

| 方針 | 大分類 | 小分類 | 施策・事業等 | | |
|---|--|------------|---|----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 総合交通対策の推進による歩いて暮らせるまちづくりの推進 | ①総合交通対策の推進 | 総合交通対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な移動手段が選択できる交通施設の整備 適切な交通需要の誘導施策を含む総合交通体系の視点から「都市交通戦略(案)」の策定 新しいバリアフリー歩行空間を形成し、多様な交通手段により快適に移動できる交通環境づくりを推進 | | |
| | | 道路の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 地域間交通流動の円滑化を促す幹線道路の整備を推進 幹線道路の交差点改良及び緊急車両の通行を確保する生活道路の整備を推進 都市間交通ネットワークの充実を図り、集約型都市構造の構築に向けた交通体系の形成 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点と地域拠点を結ぶ交通ネットワークの強化、広域交通体系の構築(幹線道路網の整備) | ②道路整備の方針 | 歩道・自転車道の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮した高齢者や障害者にやさしい道路づくりの推進や、歩行空間のバリアフリー化の推進 電線類の地中化により歩行空間を拡大し、誰もが歩きやすい歩道の整備を推進 自転車と歩行者の分離を行い、安全な道路空間を確保 | | |
| | | 公共交通の充実 | <table border="1"> <tr> <td>鉄道</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスなど他の公共交通や自動車交通との連携強化を促進 鉄道駅と自動車交通との連携に資するパークアンドライド機能など交通結節機能の強化 </td> </tr> <tr> <td>バス交通</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活用したバス事業の誘導や支援などを継続 市民の移動手段として、刈谷市公共施設連絡バスの利便性を高め、充実 </td> </tr> </table> | 鉄道 | <ul style="list-style-type: none"> 路線バスなど他の公共交通や自動車交通との連携強化を促進 鉄道駅と自動車交通との連携に資するパークアンドライド機能など交通結節機能の強化 |
| 鉄道 | <ul style="list-style-type: none"> 路線バスなど他の公共交通や自動車交通との連携強化を促進 鉄道駅と自動車交通との連携に資するパークアンドライド機能など交通結節機能の強化 | | | | |
| バス交通 | <ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活用したバス事業の誘導や支援などを継続 市民の移動手段として、刈谷市公共施設連絡バスの利便性を高め、充実 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の充実・利用促進による公共交通重視の交通ネットワークの構築 | ③公共交通の方針 | 駅前広場 | <ul style="list-style-type: none"> バス、タクシー等と鉄道との連絡を円滑にするための都市施設として、地域住民などの利便性の向上をめざし、整備を推進 | | |
| | | 駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の需要実態を踏まえ、公共駐車場を設置 | | |
| | | 自転車駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全に支障のない自転車利用環境の整備を推進 新たな施設整備を推進し、自転車利用者の利便性を向上 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 交通結節点における機能強化(駅前広場、駐車場、駐輪場の整備など) | ④その他の交通施設の方針 | | | | |

3. 刈谷市環境都市アクションプランの概要

■アクションプランのコンセプト

刈谷市の技術・情報・行動力を集結した 最先端の環境まちづくり

(コンセプト)

- ・市民・事業者・大学・行政の協働連携による総合的な取り組み
- ・産業の高効率エネルギー活用技術を活かした低炭素型のまちづくり
- ・ライフスタイルを無理なく低炭素化へ転換するしくみづくり
- ・ライフスタイル及びビジネススタイルに応じた低炭素型の交通手段の提供
- ・今ある自然環境の保全と新たな自然環境の創出による潤いあるまちづくり

産業の技術を活かした低炭素型まちづくり

- ・中心部の産業集積を活かした、クリーンエネルギーの導入
- ・事業者の世界最高水準の省エネルギー・CO₂削減技術をまちづくりに活用
- ・事業者のCO₂削減取組みの推進

事業者のCO₂削減取組み推進

クリーンエネルギーの導入等

環境配慮製品の販売

家庭におけるエコカー・太陽光発電等導入支援

公共交通機関の整備拡充

エコカーの導入
エコステーション
自転車利用の推進

建物緑化

くらしのスタイルを無理なく低炭素化へ 転換するしくみづくり

- ・行動に伴うCO₂排出量の見える化
- ・商業施設と連携した環境配慮製品の販売
- ・地産地消の推進
- ・エコカーや太陽光発電などの導入支援

ライフスタイル及びビジネススタイルに応じた 低炭素型の交通の提供

- ・公共交通機関の整備拡充
- ・自転車利用の推進
- ・エコカーの積極的導入

エコカー、公共交通機関、自転車、歩行者がバランス良く活用されるまち

- クリーンエネルギーで走行する低炭素型バスなど公共交通機関のネットワークが充実し、市内の移動が便利になっています。
- 公共交通機関の駅等を拠点にサイクル&バス・レールライド、カーシェアリング、レンタサイクルなどが活用され、多くの市民が公共交通機関、自家用車、自転車などを組み合わせて移動しています。
- 公共交通機関、自転車、徒歩による通勤者が増加するなど、交通手段の転換が進み、市内の交通渋滞が解消されています。
- 市内を走行する自動車は、すべてエコカーになり、その多くはクリーンエネルギーを用いて走行しています。
- 通勤や買い物など生活のほとんどが住まいに近い、コンパクトなまちづくりが進んでいます。

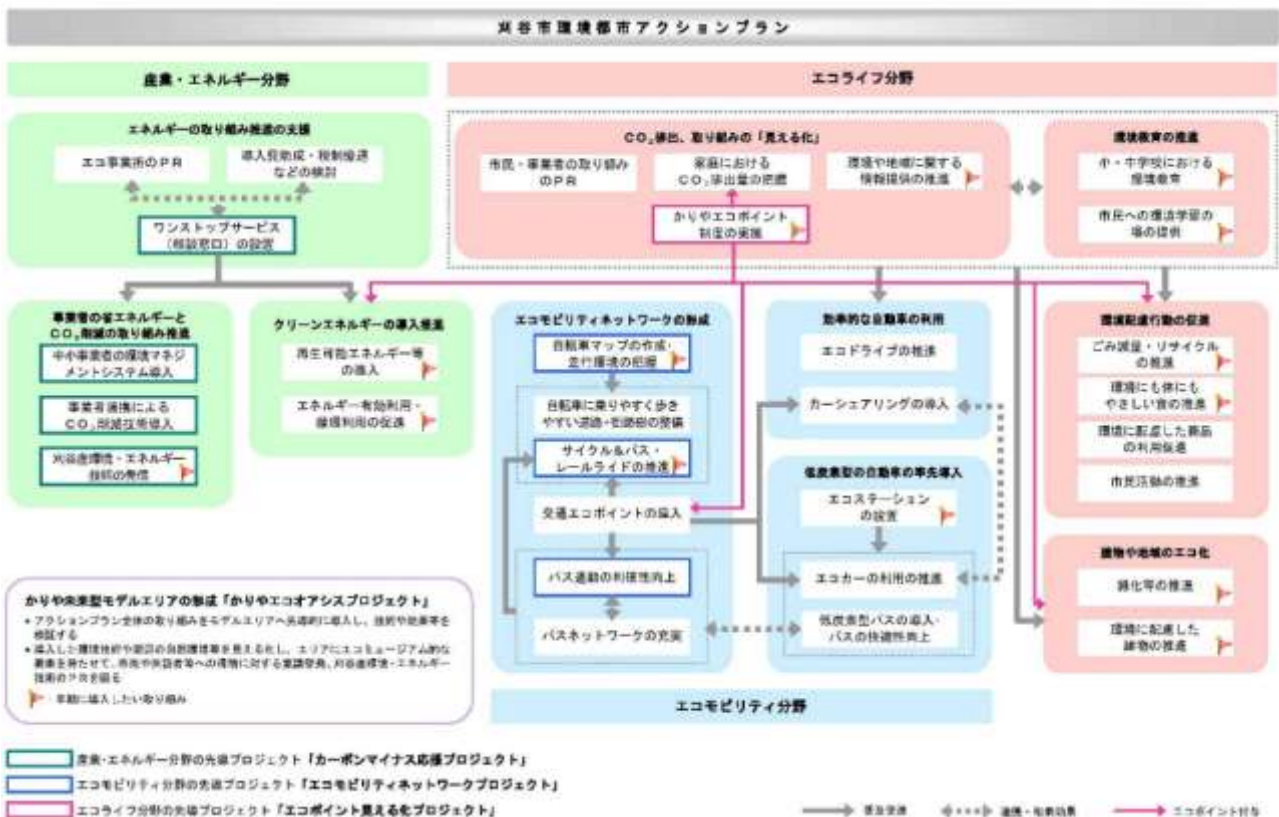
■目標とする環境都市像



“E-smile 都市刈谷”とは、刈谷市に住み、活動する人たちが良い笑顔(E-smile)でいられる産業、交通、生活、エネルギーがバランス良く揃った持続可能な環境都市刈谷の理想像です。

※ E-smile…Environment (環境)-Sustainable (持続可能な)、Mobility (移動性：交通)、Industry (産業)、Life (生活)、Energy (エネルギー)

■アクションプランの取り組み全体像



4. 衣浦定住自立圏共生ビジョンの概要

(1) 衣浦定住自立圏共生ビジョン

① 衣浦定住自立圏共生ビジョン（以下、共生ビジョン）とは

これまで刈谷市をはじめ周辺市町は、安定した財政基盤に支えられ、それぞれの自治体の個性を生かし、お互いに切磋琢磨しながら、独自の施策を展開し、住民にとって住みやすいまちづくりを進めてきました。

今後も、地方分権が進展する中、住民の一番身近な基礎的自治体である市町村が、地域の特性を活かし、住民のニーズへの対応や社会的課題の解決を図っていく必要性が高まる一方で、それぞれの市町村が持つ資源を生かし、密接に連携していくことが大切です。

刈谷市は、平成22年4月1日に定住自立圏構想の中心都市宣言を行い、圏域の中心都市としての自覚を持ち、住民生活において密接な関係を持つ市町と連携することにより、圏域全体の安心感や利便性の向上、圏域全体のつながりを強め、郷土への魅力や誇りを創出し、豊かに暮らすことができる地域づくりに努めるものとしています。平成23年3月30日には、知立市、高浜市、東浦町とともに定住自立圏形成協定の締結を行いました。

- ・定住自立圏は、中心市と周辺市町が1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として形成される圏域です。
- ・協定に定めた分野や事業などに共同で取り組むことにより、相互のメリットを創出していきます。
- ・共生ビジョンは、協定により連携や協力を図るもので、市町村合併や広域連合とは異なる新たな地域づくりです。

■定住自立圏を形成する市町



② 都市交通計画との関係

＜結びつきやネットワークの強化に関する分野＞

■共生ビジョンと都市交通計画との関係

| 分野 | 取り組み | 取り組みの内容 |
|------|--------------|--|
| 公共交通 | 行政バスの広域利用の促進 | 公共交通機関も含め行政バスの乗換拠点等を整備し、圏域内の移動しやすい路線網を構築することにより、利用者の利便性の向上を図る。 |
| その他 | 幹線道路の整備促進 | 圏域の幹線道路の整備に関する協議を行い、圏域生活の利便性及び防災機能の向上を図る。 |

■共生ビジョンにおける取り組み一覧表

| ＜公共交通＞ | | スケジュール | | | | | |
|--------------------|--------------------|---|------------------|--------------------|--------------------|-----|-----|
| 事業名 | 関係市町 | 事業内容 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | | | コミュニティバス乗継拠点整備事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | 刈谷市内のバス停を乗継拠点として整備 | → | |
| コミュニティバス路線図等作成事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | コミュニティバス全体路線図の作成及び各市町が発行する路線図などに乗継拠点などの追加表記 | → | | | | |
| コミュニティバス広報活用事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | バス車内などへ各市町の時刻表及び啓発ポスターなどを相互掲示 | → | | | | |
| コミュニティバスホームページ作成事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | 各市町のコミュニティバス情報を提供するホームページの作成 | → | | | | |
| 圏域連絡バス創設事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | 各市町の拠点間を結ぶバス創設の検討 | → | | | | |
| 刈谷市公共施設連絡バス運行事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | 市内公共施設などを結ぶ連絡バスを運行し、乗継拠点となるバス停で周辺市町バスと連結 | → | | | | |
| 知立市ミニバス運行事業 | 刈谷市、知立市 | 市内各施設などを結ぶ循環バスを運行し、東刈谷駅などへ乗り入れ | → | | | | |
| 高浜市いきいき号運行事業 | 刈谷市、高浜市 | 市内公共施設などを結ぶ循環バスを運行し、刈谷豊田総合病院へ乗り入れ | → | | | | |
| 東浦町「う・ら・ら」運行事業 | 刈谷市、東浦町 | 集客施設などを結ぶバスを運行し、刈谷駅などへ乗り入れ | → | | | | |

| ＜その他＞ | | スケジュール | | | | | |
|-------|------|--------|------------|--------------------|---------------------------|-----|-----|
| 事業名 | 関係市町 | 事業内容 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | | | 幹線道路整備促進事業 | 刈谷市、知立市 高浜市、東浦町 | 圏域内幹線道路整備について、関係機関との協議・検討 | → | |